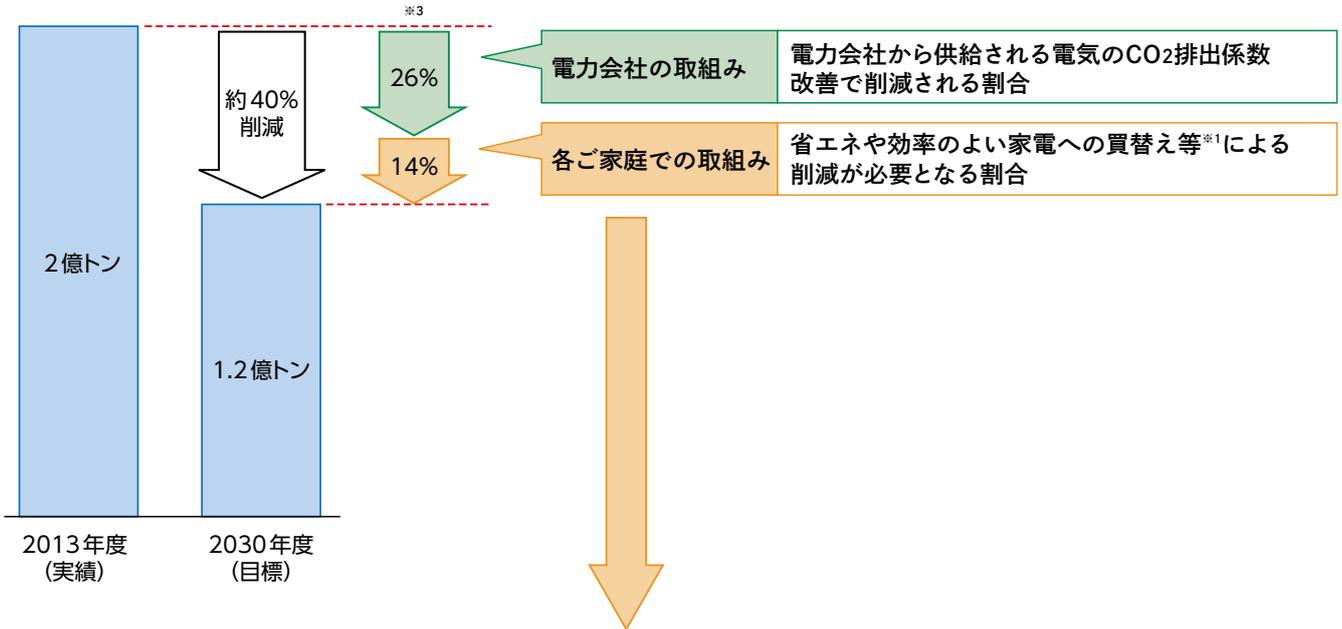


## 家庭から出るCO<sub>2</sub>排出量削減の必要性

2016年5月に国が策定した地球温暖化対策計画では、2030年度に国内全体におけるCO<sub>2</sub>排出量を約26%削減(2013年度比)することを目標としています。

このうち、家庭部門に対しては、2013年度比で約40%の削減が求められています。そのうちの約2/3(約26%)については、原子力や再生可能エネルギーなど低炭素な電気の供給により削減可能と試算されていますが、残りの1/3(約14%)については、省エネや効率のよい家電製品への買替え<sup>\*1</sup>など、各ご家庭での取組みが必要となります。

家庭部門のCO<sub>2</sub>排出量<sup>\*2</sup>



家電製品の使い方や買替えによるCO<sub>2</sub>削減効果<sup>\*4</sup>

|                          | 冷蔵庫(410~450L)  | 液晶テレビ(32型)  | エアコン(2.2kW)  | 小計    | 合計     |
|--------------------------|--|---|--|-------|--------|
| 使い方の改善                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>物を詰め込みすぎない ▲0.7%</li> <li>扉の無駄な開閉はしない ▲0.2%</li> <li>扉の開閉時間を短くする ▲0.1%</li> <li>庫内温度を適切に設定する ▲0.9%</li> </ul> ▲1.9% | <ul style="list-style-type: none"> <li>見ないときは電源を切る ▲0.3%</li> <li>画面の明るさを適切に設定する ▲0.4%</li> </ul> ▲0.7% | <ul style="list-style-type: none"> <li>冷房時の設定温度27→28℃ ▲0.5%</li> <li>冷房は必要時のみ運転する ▲0.3%</li> <li>暖房時の設定温度21→20℃ ▲0.8%</li> <li>暖房は必要時のみ運転する ▲0.6%</li> </ul> ▲2.2% | ▲4.8% |        |
| 高効率家電への買替え <sup>*1</sup> |  NEW<br>▲4.8%   |  NEW<br>▲2.0%        |  NEW<br>▲2.7%   | ▲9.5% | ▲14.3% |

【出典】

\*1:省エネ性能カタログ2016年冬版(2016.12 資源エネルギー庁)の、2007年製を2015年製に買い替えた場合のCO<sub>2</sub>削減量を用いて試算

\*2:家庭部門のCO<sub>2</sub>削減量は地球温暖化対策計画(2016.5.13 環境省)から引用

\*3:CO<sub>2</sub>削減割合の内訳は環境省資料「地球温暖化対策の現状と課題について(2016.12.14)」から引用

\*4:家電製品の使い方や買替えによるCO<sub>2</sub>削減効果は、地球温暖化対策計画(2016.5.13 環境省)のCO<sub>2</sub>削減量と省エネ性能カタログ2016年冬版(2016.12 資源エネルギー庁)の各電化製品のCO<sub>2</sub>削減量を用いて試算